

「東山・まち・みらい計画2025」素案に関する パブリックコメントで頂いた御意見と御意見に対する考え方について

1 意見の募集期間

令和3年3月15日（月）～4月15日（木）

2 計画案の周知方法

- ① 区総合庁舎2階 地域力推進室窓口で配布
- ② 東山区役所のホームページに掲載
- ③ 市民しんぶん区版（4月15日号）に掲載
- ④ SNS（Facebook）等を活用して周知
- ⑤ 地域の自治連合会等を通じて周知
- ⑥ 区内の高校や大学等に周知

3 パブリックコメント結果の集計

<回答者数・延べ意見数>

回答者数	205
延べ意見数	242

<回答者の属性>

年齢

	件数	比率
10歳代以下	107	52.5
20歳代	34	16.7
30歳代	7	3.4
40歳代	7	3.4
50歳代	14	6.9
60歳代	5	2.5
70歳代以上	11	5.4
不明・無回答	20	9.3
合計	205	100.0

お住まい等

	件数	比率
東山区在住	46	22.5
東山区内に通勤・通学（区外在住）	122	59.8
その他	17	8.3
不明・無回答	20	9.3
合計	205	100.0

4 御意見の要旨と御意見に対する考え方

まちづくりの理念と東山の未来像，まちづくり方針

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
「世界文化自由都市宣言」についても，記載する必要がある。	1	「世界文化自由都市宣言」，について「東山・まち・みらい計画 2025」本編で記載を追加いたします。
「守るべきことは頑なに保守」「変えるときは大胆に変革」という，相反する政策の両使いを掲げている点に感銘を受けた。	1	重要な基本姿勢として，前計画から受け継ぎ，取組を進めてまいります。

目標1 認め合い，支え合い「絆で結ばれるまち」

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
地域のつながりづくりが重要であり，各種の交流イベントや気軽に集える場・居場所などを大切にすることが必要である。	14	目標の第1番目に「認め合い，支えあい「絆で結ばれるまち」」を掲げています。施策2「区民，関係機関と行政との協働のさらなる展開」及び「施策3「人と人との交流を深め，「自分ごと」「みんなごと」で取り組むまちづくりの推進」等で，取組を進めてまいります。
「住んでこそ！東山プロジェクト（仮称）」について，子育て環境面や若者の定住促進など，より具体的な内容を入れてはどうか。	3	現段階では「活動方針案」を掲載しており，今後，意見を踏まえ，計画推進の中で具体的な取組を検討してまいります。
人口減少を抑えてほしい。	2	施策1として「人口減少に立ち向かう取組の展開」を掲げており，「住んでこそ！東山プロジェクト（仮称）」を中心に，他の各施策との相乗効果も図りながら，人口減少対策に注力していきます。
ボランティアを増やせばいい。	1	直接的にボランティアに言及していませんが，ボランティア精神の本来のいきいきとした精神や創造性を踏まえて，施策4の中で「みんなが『わたしらしく』かがやく」の表現などに含めて捉えています。
施策3「自分ごと」という表現がよい。	1	区民の皆様が「自分ごと」として考え，実践できるよう取組を進めてまいります。
LGBTQ や日本語話者以外の方などへの支援や正しい理解を深められるような機会も必要である。	1	施策4「みんなが『わたしらしく』かがやく東山の実現」において，LGBTQ や日本語話者以外の方も含め，多様性が尊重され，誰もがくらしやすい社会の実現を目指す施策を行っていくこととしております。

目標2 地域ぐるみで助け合う「安心・安全のまち」

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
街灯や防犯カメラを設置する, 子どもへの教育面から取り組むなど, 今以上に安心・安全に暮らせるまちづくりが進むといい。	13	施策9「安心安全のまち東山の推進」の中で, 取組を進めてまいります。 また, 子どもへの交通安全教育について引き続き取り組むべく, 追記をいたします。
新型コロナウイルス感染症への対策を充実させてほしい。	8	今後, 京都市において基本計画を具体化する中で, 新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済情勢の変化をはじめ, 厳しい財政状況にあっても, 全市の取組として, 基本計画に掲げた方向性の下, 新しい時代の京都をつくるための具体的な方策を検討してまいります。 東山区においても, 施策8「感染症からいのちを守る取組の推進」の中で, 取組を進めてまいります。
区民の防災意識の向上と, 防災対策の充実が重要である。	3	施策6「地域と行政との協働による地域防災力の向上」の中で, 区民一人一人の防災意識を高めるため, 継続的な防災意識の向上・防災対策の充実を進めてまいります。
大学や高校などとの連携を進めてほしい。	3	施策5「地域と大学, 高校等との連携・協力の促進」の中で, 取組を進めてまいります。
特殊詐欺対策のため, 通話録音機器の購入費用の補助事業を実施してほしい。	2	補助事業としては予定をしておりますが, 施策9「安心安全のまち東山の推進」の中で, 積極的な広報啓発活動により特殊詐欺被害や消費者被害の防止に努めてまいります。
ICT活用について, 苦手な方にも避難情報や被害状況などが分かるような対策が必要である。	1	スムーズな避難情報や被害状況の発信のため, ICTの活用を進めていくとともに, パソコンなどの操作が不慣れな方には, 誰一人取り残さないという理念の下, 誰でもICTを使えるように, 分かりやすく使いやすい工夫を行うと同時に, 多様な手段での情報発信に努めてまいります。

目標3 子どもを大切に育てる「はぐくみのまち」

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
住宅供給, 子育て世代の居場所づくりや交流の場づくり, 子育てのしづらさのサポートなど, トータルな子育て支援の充実が重要である。	13	施策 13「子ども・若者の居場所づくりと地域とつながる機会の提供」及び施策 27「良質な住宅ストックの形成及び良好な住環境の整備」の中で, 取組を進めてまいります。
学校による差をなくし, 区の中학생みんなが自校調理方式の給食を食べられるようにしてほしい。	3	学校の状況に応じて「自校調理方式」と「校外調理委託方式・選択制」を採っており, いずれの場合にも市基本計画に記載する「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育を推進するという趣旨に合うよう進めてまいります。
一人暮らしの学生が孤立しないように。とりわけ, コロナ禍でバイト収入等が減少した学生向けのための支援が必要である。	2	市基本計画において, 学生の成長と京都のまちの活性化の双方につながるよう, 学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うと記載しております。なお, 京都で学ばれている約 15 万人の学生の 4 分の 3 は京都府外から来られており, また, 京都の高校生の半数は府外の大学に進学されるなど, 全国規模で学生が進学される状況を踏まえれば, 学生に対する直接的な経済支援については, 全国共通の課題として, 国において統一的に対応する必要があると考えており, 国に対して必要な要望を行ってまいります。
中学や高校にも支援学級を創設して, 多少障害があっても無理のない環境で自立した社会人を目指せるようになるとよい。	1	市基本計画において, 児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化, 医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ, インクルーシブ教育の理念に基づく, 一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導, 教育環境の充実を図ると記載しており, 今後, 全市の取組として, 京都市において基本計画を具体化する中で, 総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。
公園など子どもが遊ぶ場所が少ない。	1	施策 27 の中で「多様なニーズに応える公共空間として, 公園や広場等の活用を推進します。」と記載しており, 今後, 取組を具体化する中で検討してまいります。

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
<p>「待機児童が…ゼロ」というのは実態をつかんでいない表現なのでやめるべき。</p>	1	<p>【保育所等】 待機児童数は国の基準に基づき分析しているものであり、他都市比較や今後の保育施策を検討するうえでの指標という点からも用いております。なお、国定義上の待機児童ゼロの達成は1つの成果としておりますが、目指しているのは、保育を必要とする方が必要なときに地域で必要な保育を受けられる環境づくりであり、引き続きこの目標達成に向けて取り組んでまいります。</p> <p>【学童クラブ事業】 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の下、条例に定めた設備・運営基準に基づき、昼間留守家庭で学童クラブの利用を希望される方全員の受け入れを行ったうえで、「待機児童ゼロ」としてまいります。</p>
<p>若者にとって魅力ある居場所づくりやその周知が望まれる。</p>	1	<p>施策11「子育て家庭・子ども・若者の孤立防止」の中で、取組を進めてまいります。</p>
<p>虐待を受けている子ども自身が相談できる場所が増えるといい。</p>	1	<p>施策12「困難を抱える家庭・子ども・若者への支援」の中で、取組を進めてまいります。</p>
<p>性教育を充実させる必要がある。</p>	1	<p>施策10「安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり」、施策11「子育て家庭、子ども・若者の孤立防止」、施策12「困難を抱える家庭・子ども・若者への支援」の中で、取組を進めてまいります。</p> <p>市立学校においては、学習指導要領に基づき子どもの発達段階に応じた指導を行ってまいります。</p>

目標4 誰もがいきいきと健やかに「笑顔でくらすまち」

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
医療や生活支援があり、いきいきとくらす社会づくりが大切である。	4	目標4の「区民の主体的な健康づくりの推進」等の各施策において、取組を進めてまいります。
高齢者向けにスマホの使い方講座を開いてほしい。チラシを読むより区役所で教えてもらえると自分事として取り組める。	2	施策3の「人と人との交流を深め、『自分ごと』、『みんなごと』で取り組むまちづくりの推進」の中で、取組を進めてまいります。
敬老行事を廃止にしないでほしい。	1	現時点で廃止の予定はございませんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期・中止・縮小となる場合があります。

目標5 自然、歴史、文化を感じ「守り継ぐまち」

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
自然や町並み、伝統産業、歴史など東山区の特性・魅力を守り生かしていくことが重要である。	25	施策18「東山の美しい景観・佇まいの保全」及び施策20「東山が培ってきた文化と経済との融合」の中で、取組を進めてまいります。
ごみの減量・分別・適正処理、散乱ごみ対策などを強化し、美しいまちにしたい。	6	施策19「環境に配慮したくらしや活動の普及・促進」の中で、取組を進めてまいります。
省エネ、再生可能エネルギーの普及を進めて、脱炭素社会を実現する必要がある。	4	施策19「環境に配慮したくらしや活動の普及・促進」の中で、取組を進めてまいります。
サテライトオフィス、ワーケーションを始め、多様な働き方ができる環境整備が求められる。	3	施策20「東山が培ってきた文化と経済との融合」の中で拠点づくりの手法の一つとして検討してまいります。 また、施策24「くらす人・働く人・活動する人の交流機会の創出」の中でも、取組を進めてまいります。

目標6 いつまでも変わらず、いつも新しい「活力あるまち」

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
飲食店やスーパー・コンビニを増やすなど、商店街の活性化や買い物環境づくり、まちのにぎわいづくりが必要である。	8	施策23「快適な買い物やくらしを支える買い物環境づくりへの支援」の中で、取組を進めてまいります。

目標7 くらしとおもてなしの調和で「住みよいまち」

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
観光客の多さを踏まえて、住民生活が守られるよう道路・交通環境など生活環境を改善する必要がある。	32	施策9「安心安全のまち東山の推進」、施策25「持続可能な観光の推進」、施策26「『歩いて楽しいまちづくり』の推進」の中で、取組を進めてまいります。
散策ルートや自転車道の整備、観光客にわかりやすい案内、SNSを活用したさらなるPR、住民のおもてなしの姿勢づくりなど、観光政策に力をいれるほうがよい。	15	施策25「持続可能な観光の推進」、施策26「『歩いて楽しいまちづくり』の推進」の中で、取組を進めてまいります。
学校跡地の有効活用は、地域の問題解決の視点や地域コミュニティ活動への十分な配慮を望む。	15	施策28「学校跡地の有効利用」の中で、取組を進めてまいります。
空き家等が簡易宿泊施設になってしまうことが不安。空き家対策の充実が必要。	5	施策27「良質な住宅ストックの形成及び良好な住環境の整備」の中で、取組を進めてまいります。
家賃補助など、住宅に関する支援を進めてほしい。市営住宅は誰でも入れるようにしてはどうか。	5	施策27「良質な住宅ストックの形成及び良好な住環境の整備」の中で、検討を進めてまいります。
JRや阪急の駅を増やす、地下鉄東山駅の利便性を向上させるなどが望まれる。	4	市基本計画において、交通事業者間の連携や、利便性・快適性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、交通事業者とともに、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
地価等、生活にかかる費用が高いことに対して、手の届きやすい住宅の供給などを検討してほしい。	2	地価の高さ等は、人口が流出する要因の一つと認識しており、多様な世代に住んでいただけるよう、施策1「人口減少に立ち向かう取組の展開」の中で検討してまいります。
東福寺付近は観光客が多く、車と接触しそうで危ない。	1	施策9「安心安全のまち東山の推進」、施策25「持続可能な観光の推進」、施策26「『歩いて楽しいまちづくり』の推進」の中で、取組を進めてまいります。

その他

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
北陸新幹線には反対である。	6	京都市以外の事業者によって進められる北陸新幹線の整備については、現在、環境影響評価の手続が進められているところであり、今後、当該手続の中で、環境影響評価審査会の御意見もいただいたうえで、自然環境や生活環境、文化財、都市機能、建設発生土砂の処理など様々な点で影響を徹底して回避・低減していただくため、京都市として必要な意見を提出してまいります。
公教育ですべての子どもたちが持続可能な農のあり方で育てられた食材・調味料を使った給食を食べられるようにしたい。	1	市基本計画において、良好な農山村環境や生物多様性を保全することにより、京都の豊かな食文化や伝統産業等が守り伝えられていることや、環境に配慮した農作物の栽培や、福祉、教育、まちづくり等との分野横断的な連携等により、農林業が環境や社会に貢献することを目指すと記載しており、今後、市基本計画を具体化する中で、農林業が環境や社会に貢献するまちづくりに向けて検討してまいります。
計画の表現等について		
施策などについて、より具体的な内容を示す必要がある。また、表現をわかりやすくしてほしい。詳細が知りたい。	5	
全体的に分かりやすくまとめられている。良い計画だと思う。	2	
全体的に東山区ならではの視点が不足している。重点課題を設定するとよい。	2	パブリックコメントでいただいた御意見も踏まえながら編集・印刷を進める中で、区民の皆様に分かりやすい計画となるようにしていきます。
概要版であっても、第2期計画の成果と課題のポイントがわかるように記載すべきである。	1	
「最悪の場合」「最悪の事態」などの表現は避けてほしい。	1	厳しい状況を区民の皆様と共有する主旨を残しながらも、文章表現を変更して記載します。
財源不足の影響を「国保の値上げ保育料の値上げ」と決めつけるのは問題である。	1	区民生活に大きな影響が生じると想定されるものを、代表して掲載しています。
行政に対して		
京都市東山いきいき市民活動センターは、区民が安価に利用できるほうがよい。	2	御意見について、関係部署にお伝えしてまいります。
区役所の会議室など区民に貸し出してほしい。	1	区民の皆様が必要な場を使いやすく御利用いただけるよう検討してまいります。

御意見の要旨	件数	御意見に対する考え方
住民の命, 暮らし, 教育を守ることを忘れず, 頑張ってもらいたい。	2	区民の皆様の御意見を元に, 改善を重ねながら取り組んでまいります。
財政状況を考慮した実現性の下で, 施策を進められたい。	2	
このパブリックコメントの周知が不足している。また, 自由に意見が書けるよう用紙も工夫されたい。	2	
窓口での手続を簡単にできるようにしてほしい。	1	市民の皆様の利便性向上につながるよう, 行政手続におけるデジタル化を進めてまいります。
地下鉄, 水道, 公立保育所の民営化はしないでほしい。	1	御意見について, 関係部署にお伝えしてまいります。
敬老乗車証の運用見直し(値上げ)は避けてほしい。	1	
時短要請協力金等の円滑な支払いを望む。	1	施策 8 に掲げる「感染症からいのちを守る取組の推進」の中で, 手続きのオンライン化による簡素化を, 国, 府, 市などのレベルにおいても取り組むことにより, 改善してまいります。